

第12回 中塚医学賞（大分大学医学研究表彰）応募要領

1 趣旨・目的

大分大学医学部における若手研究者の研究の活性化及び進展に寄与するため中塚医学賞（大分大学医学研究表彰）を創設し、優れた研究成果を挙げた研究者を表彰することを目的とする。

2 審査対象

本表彰に係る審査対象は、以下のとおりである。

○生命科学・医学専門分野

- 1) 学術雑誌に報告された生命科学および医学の発展に寄与する原著論文であること。
- 2) 論文は自著とし、単著及び応募者が第1著者である共著論文とする。（第1著者が複数の場合、他の第1著者の許可が必要）
- 3) 論文の応募者及び責任著者（コレスポンディングオーサー）が、論文受理（サブミット）時に医学部の研究者であることとする（本賞応募時に表彰対象者の身分を有していない場合も応募可）。ただし、論文の責任著者について、大分大学医学部研究推進委員会が審査対象と認めた場合は、その限りではない。
- 4) 2020年1月から2021年12月までに採択（アクセプト）通知を受けた論文。（ただし、過去に中塚医学賞を受賞した論文を除く。）

○看護学専門分野

- 1) 論文（上述の他の分野に準じたもの）または看護実践に関する研究業績

3 表彰対象者

大分大学医学部（附属病院を含む）の准教授、講師、助教、助手、教務職員、医員、研修医、研究生、客員研究員、技術職員、大学院生及び研究マネジメント機構挾間地区の技術職員、教務職員

4 表彰対象分野及び人数

- 1) 生命科学・医学専門分野 3名程度
- 2) 看護学専門分野 1名程度

5 提出書類

- 1) 論文解説書（様式1） 1部
 - *応募同意書（様式2）：第1著者が複数の場合
 - *2の生命科学・医学専門分野の審査対象に該当する複数の論文によって審査希望する場合は、論文毎に論文解説書を作成し、論文解説書の右上の余白に、主な論文1編は『主』、その他の論文は『副』と朱書すること。
 - *その他、審査委員会の求めに応じて必要書類を提出すること。

2) 論文別冊（またはPDF）6部（看護学専門分野は3部）

*看護実践の研究業績で応募する場合（看護学専門分野のみ）以下を提出すること。

3) 業績解説書（様式3）3部

4) 参考資料（研究業績に関連したもの）3部

6 表彰

受賞者には、10月3日（月）に表彰し、賞状と副賞を授与する。また、表彰日当日、受賞者によるセミナーを行う。

※日程は変更になる場合があります。

7 受付期間

2022年5月13日（金）～ 2022年 7月8日（金）

8 選考及び推薦

大分大学医学部研究推進委員会において書面審査のうえ、受賞者を選考し、医学部長に推薦する。

9 受賞者決定及び通知

医学部長は、推薦を基に受賞者を決定し、受賞者あてに通知すると共に、医学部ホームページに公表する。

10 書類の提出先

医学・病院事務部 総務課総務第二係

TEL : 5011

E-mail: rintiss@oita-u.ac.jp

受付番号

中塚医学賞 論文解説書

応募専門分野： 生命科学・医学専門分野 / 看護学専門分野
(いずれかを○で囲む)

(ふりがな) 応募者氏名	()	e-mail Tel	
現 職	所属部局名等	職名	
研究を行った 講座等			
論文の内容につ いて問い合わせ 可能な者の氏名			
題 目 名 (和 訳)			
著 者 名	※責任著者に*印をつけて下さい。		
掲 載 誌 名 (巻, 頁(始-終), 年)			
論 文 内 容 (600字程度)			

<p>論文関連事項 (論文作成における役割分担，掲載誌の専門領域やレベル，論文関連内容の学会報告，報道等について記載する。)</p>	
--	--

中塚医学賞 応募同意書

年 月 日

大分大学 医学部長殿

氏 名：

所 属：

Eメールアドレス：

私と共著した下記の論文を_____が「中塚医学賞」に応募することに同意します。

なお、私は本論文による同賞へ

- 応募いたしません。
- 同時に応募します。
- 応募資格がない事を確認しました。

記

論文名（著者名，題目名，掲載誌名，巻，頁（始—終），年）：

（第1著者が複数の場合は，応募者以外の第1著者が作成し，応募者が必ず提出のこと。）

中塚医学賞 業績解説書※

(ふりがな) 応募者 氏名	()	e-mail Tel	
現職	所属部局名等	職名	
題目名 (和訳)			
参考資料 (原著論文以外 の資料で添付する ものを 列挙する。)			
業績内容 (600字程度)			

業績関連事項 (業績作成における役割分担, 業績関連内容の学会報告, 報道, 看護実践研究を行った講座等について記載する。)	
---	--

(注)※ 看護学専門分野において看護実践の研究業績で応募する場合